

第 192 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2013 年 7 月 20 日（土） 15:30～22:00

場所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター（〒530-0011 大阪市北区大深町 3 番 1 号）
（グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル タワーC 9 階）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、乾口（将来構想）、井上（会計）、工藤（大会事業）、
佐藤（他学会連携）、関（広報）、徳丸（事業）、前田（庶務、会誌）、
和多田（事業監事）、三河（オブザーバ：編集委員長）

欠席者：中嶋（副会長）、秋山（賞選考）、星野（電子化検討）、安信（会計監事）

1. 前回議事録の承認（資料 192-0）

第 191 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) 総会議事録の最終版について（前田）（資料 192-1）

・第 24 回総会の議事録最終版の確認を行い、承認された。

(2) 今後の特集および解説記事について（三河）（資料 192-2）

・三河編集委員長から、今後の特集号および解説記事について報告があった。現状では、Vol. 26, No. 4（来年 8 月号）以降の特集がまだ決まっていないが、編集委員長より「ファジィルネサンス」で論文特集、または解説特集を組めないかとの意見があった。

・これに対して理事からは、やや消極的な意見が多く、論文や解説特集は無理であるとの意見が出た。

(3) FSS2013 の収支決算とストーリーミング配信について（林）（資料 192-3）

・林副会長から、大会委員長として今年度の FSS2013 の報告があった。現時点で発表件数は約 250 件、参加人数は昨年よりも少ない見込みである。大会側から理事会に以下の 2 点について申し出があった。

・FSS の収益金として、従来から東京・大阪の開催の場合には 100 万円程度の黒字を目標とするが、今年度は急遽開催場所が決定して準備不足があるので、収入が減少する可能性もありうるとの報告があった。理事会としてもこの件を理解した。

・また、従来、FSS ではストーリーミングの動画配信を行うが、従来は理事会主導で準備を行っていた。しかし、今年は理事会側も大会側も準備不足であるので中止にしたいとの申し出があった。理事会もこの点を了承した。

(4) 学会 SNS の不具合報告（星野）（資料 192-4）

・星野電子化担当理事が欠席のため、十分な議論はできなかった。

・徳丸 FSS2013 実行委員より、現状での講演申込みの問題点として、SNS は現時点でも未だにログインできない、別のページに飛ぶ、などのクレームがあるとの報告があった。また、パスワードを適当に打ち込んで入れるときもあり、システムとしてまだ多くの問題があることが指摘された。

(5) 学会ホームページの改定報告（関）（資料 192-5）

・関広報理事から、学会ホームページについて現時点で急急に修正可能な部分の改定報告があった。

・トップページの FSS やファジィ学問塾のリンクバナー直下の SNS グループの紹介は、学会ホームページのトップとしては不適切であるとの意見が出された。

(6) 理事会資料サーバ(Dropbox)について（前田）（資料 192-6）

・前田庶務理事から、今後の理事会議事録の最終確定版のファイルを Dropbox の資料サーバに置いておくことにするので、活用してほしいとの報告があった。

3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項について確認と審議がなされた。

(1) 横幹連合の学会キャッチフレーズについて（前田、馬野）（資料 192-7）

- ・横幹連合に登録されているキャッチフレーズを以下のように変更することが決まった。このキャッチフレーズを事務局に連絡し、その後、横幹連合に報告することになった。

「ファジィ・ルネサンス

あいまいさへの挑戦」（右寄せで記載）

- ・横幹連合の学会長会議に馬野会長が出席するため東京出張することが承認された。

(2) 学会賞選考について（秋山）（資料 192-8）

- ・林副会長から、現状について簡単な報告があり、現在議論している最中なので、特に現時点では議論することはない、との説明があった。

(3) 学会運営スケジュールの変更について（徳丸、林）（資料 192-9）

- ・徳丸事業担当理事より、会長および理事等の選出を早期に行い、FSS で臨時総会を開いて承認することが前事業委員会で決まっていたことが報告された。これは引き継ぎをスムーズにすることが目的であるが、前理事会では昨年度は実施をしていないとの説明もあった。
- ・このことについて、今年度の FSS では臨時総会の準備期間がないため実施しないことが提案され、承認された。
- ・馬野会長から、理事会の引継ぎをスムーズに行なうためにも実施するのは良いことなので、来年以降から実施する方向で検討することにしたいとの意見があり、承認された。

(4) FSS2013 事務局委託業務について（工藤）（資料 192-10）

- ・工藤大会事業担当理事から、今年の FSS の事務局委託作業について説明があり、昨年度のまま事務局に担当していただくことになった。但し、配布資料の事務局委託作業の流れ図が古いので修正しないといけないことが指摘された。
- ・工藤理事から、来年度の事務局委託業務の支払いに関しては一度見直したほうが良いのではないかと、この意見が出された。
- ・井上会計理事から、今年度の事務局の業務委託はやっているかどうかわからないので、事務局に確認するとの報告があった。

(5) 学会 SNS の今後の取り扱いについて（星野）（資料 192-11）

- ・林副会長から、星野電子化担当理事に代わって、学会 SNS に関して簡単な報告があった。これまでの SNS サーバ維持費は月々 10 万円であったが、5 万円に変更し、トータルの SNS 管理費費用で前回約 170 万円であったのが、今回 100 万円になったとの報告があった。（サーバが 3 コンテナ必要なため、3 契約が必要）
- ・今回のカラーチップスの見積書では、今までプライベートでもっていたサーバを VPS（仮想サーバ）に変更したため、費用が約半減した。それでも費用が少ないわけではないが、とりあえず更新時期（今年の 5 月）が過ぎており、この額を支払わざるを得ないとの判断で、了承された。

(6) 将来構想アンケートについて（乾口）（資料 192-12）

- ・乾口将来構想理事から、会員向けアンケート方法について、学会誌に同封、学会で配布、WEB 回答、などが考えられるとの説明があった。これに対し、今回は、学会誌とともに郵送で紙面によるアンケートを作成して、無記名で返信してもらうことに決まった。
- ・前田庶務理事から、FSS でアナウンスするならば、アンケート項目を早急にまとめないといけないとの意見があった。またアンケートの目的として、理事会の方針に賛同するかを聞く、一般的な会員の意見を冷静に聞く、のどちらの方針で実施するかをはっきりさせる必要があることも指摘された。これに対して、今回は理事会方針に賛同するかどうかを選択肢で聞くことになった。

(7) ソフトコンピューティング 100 選について（関、林）（資料 192-13：当日配布）

- ・ 関広報理事より、電子メディア・広報委員会の組織案が報告された。また、ソフト 100 選についての現状報告と、ソフト提供者と利用者間の契約や取決めなどで考えられる問題について議論しておくべきとの報告があった。
- ・ 林副会長から、ソフト 100 選の契約書を正式に作成しないといけないが、以前、学会ホームページで公開していたツール公開ソフトで、谷氏（故人）が作成された契約書がひな形になるので、これをベースに作成してはどうかとの意見が出された。
- ・ これに対し、関理事から、谷氏の契約書をベースに大工大の廣田先生に契約書のたたき台を作成していただく様に依頼する、との説明がなされた。

(8) 投稿原稿の書き方の改定について（三河）（資料 192-17）

- ・ 三河編集委員長からは、学会誌は現在、本体価格 2000 円で販売しているが、据え置きで良いかとの確認があった。これに対し、特に異論がなく承認された。
- ・ 学会誌のマルチコアのロゴについては、削除することで了承された。
- ・ さらに、三河委員長より、投稿原稿の書き方について、ファジィ学会は現在、ダブルブラインド査読であるがシングルブラインド査読ではだめか、という提案がなされた。これに対して、資料 192-17 の改定案の「その 1」にすることが了承された。

(9) 謝金関係規定の見直しについて（井上）（資料 192-18）

- ・ 時間がないため、議論を次回送りとするようになった。

(10) 他学会連携の活動指針（佐藤）（資料 192-19）

- ・ 佐藤他学会連携委員より、林副会長から 2015 年の FSS と JNNS との同時開催を北九州で開催することを考えてはどうかとの意見が出されたことが報告された。前回の合同開催とは異なり、共催のオーガナイズセッションを企画してはどうかとの説明もあった。
- ・ 林副会長からは、このような合同開催の FSS の開催においては、事業委員会と他学会連携担当理事との役割分担を考えておく必要があるとの指摘があった。
- ・ 徳丸事業担当理事からは、これまで支部で回り持ちしていた FSS を今後は変えて行くべきで、事業委員会では、大阪、東京との間に地方を入れるといった輪番制を検討していることが報告された。この順番だと、2015 年は東京になるが、北九州で SCIS-ISIS2014 があるので、2015 年だと担当が連続するとの指摘もあった。
- ・ 来年の FSS2014 は、山形大（野本先生）、高知工科大（星野先生）、の順で開催を打診することになった。但し、来年の FSS は 30 回記念大会で、学会創設 25 周年となる。さらに、2015 年はファジィ 50 周年も控えている。FSS2015 は、九州で JNNS との合同開催を目指すことになった。
- ・ また佐藤理事から、SCIS-ISIS を台湾か中国で開催してはどうかとの提案があるが、この場合、SCIS は当学会の大きな財源であるので、かなりの減収になる可能性があることも指摘された。これについて、AFFS との関係を確認しておくべき、との意見が乾口理事から出された。
- ・ さらに佐藤理事から、他学会連携の研究会について、可能性理論、感性工学、Big Data Analysis などを検討してはどうかとの提案があった。

4. 特別会員、名誉会員の認定について（林）（資料 192-14-1~4：当日配布）

- ・ 林副会長から、名誉会員（規定あり）と特別会員（規定なし）の現状についての報告があり、新たに新規認定をどうするか検討すべきとの意見が出された。
- ・ これについて、名誉会員は、基本的にすでに退官された方とし、7 名追加することになった。また特別会員については、4 名を追加することになった。
- ・ FSS の際に新たな名誉会員、特別会員に依頼文を送る必要があるとの報告もあった。

5. 監査（事業）に関する監査基準について（和多田）（資料 192-15）

- ・ 和多田事業監事から、事業監査についての基準をあらかじめ明確にしておきたいとの提案があった。

提案では、「事業の質」と「事業の経済性」の2点で監査してはどうかとの説明があった。これについて、特に事業監査における基準の作成が必要であるとの意見は出されなかったが、監査基準については特に定義されていないため、理事間で意見交換を行った。今後、事業監査基準について議論を継続することになった。

6. 第13期理事会のロードマップ作成（林）（資料192-16）

- ・時間がなかったため、審議は先送りとなった。

7. 次回理事会について

- ・次回理事会は、9月のFSS会期中（9月9日の昼休み）に開催することになった。